

日時：2008年11月1日（土）13時より17時

場所：日本物理学会会議室

出席者：松尾由賀利、有光直子、中島美帆、森初果、米永一郎、松島房和、
門野良典、嘉規香織、笹尾真実子（ネットコメンテーター）

欠席者：前田京剛、平田光司、加賀山朋子、五神真

I. 報告事項

(1) 前回議事録確認：配布資料1

前回議事録（資料1）の承認が行われた。

(2) ICWIP 国際会議報告（米永）：配布資料2

2008年10月7-10日に韓国・ソウルで開かれた International Conference on Women in Physics の報告があった。

- ・ 参加者 283 人、57 ヶ国
 - ・ 日本からの参加者 18 名（うち学生 3 名、男性 3 名）
 - ・ 宗教、教育のレベルが異なるなど困難な背景にも関わらず Resolution がまとめられた。
 - ・ 会議の概要は物理学会誌より依頼を受け、で田島前委員長が報告する。
 - ・ 春学会のシンポジウムでも前田副委員長が報告する。（→審議事項(1)）
 - ・ 次は 2011 年、開催地は南アの予定。
- 報告に端を発し、物理の分野間での温度差（たとえば素粒子系大規模実験などの場合、国間の違いのほうが目立ち、男女の違いは顕著でないこと）などについて意見交換がされた。

(3) 学協会連絡会シンポジウム担当サブグループ報告（松尾）：配布資料3

10月7日 連絡会シンポジウムの報告があった。

- ・ 当委員会の発表は「物理学会のこの一年」。夏の学校のときの日韓交流や、物理からのブース内容の紹介。
 - ・ ポスドク問題について盛んに議論があった。
 - ・ 参加者の8割くらいが女性（目測）。
- 参加者の女性率が高いことに関連し、男性参加を促す必要があるのではないか、との意見が出た。

(4) 学協会連絡会担当サブグループ報告（有光）：配布資料4-1~4-4

学協会連絡会運営委員会の報告があった。

- ・ 主な議論はアンケート結果についての「個人情報の保護」、「各学協会によるデータ利用お

よび結果公開版利用の際のガイドライン」(資料 4-1~4-3) であり、いったん終結をみて、次の期へ渡された。

- ・ アンケート結果を分析した上での政策提言などの議論、要望活動は継続中。
- ・ 物理分のデータの分析(前回との比較を含む)については、今期の当委員会の課題であることが確認された。データは前田副委員長が保管している。

II. 審議事項

(1) 学会シンポジウムについて：配布資料5

松尾委員長より、春学会でのシンポジウムの申し込み内容(臨時 WG による)について説明があり、承認された。

- ・ タイトル「研究・教育の場における男女共同参画—拡大する女性研究者支援と今後の展望」
- ・ 講演者に、内閣府男女共同参画局・板東久美子氏などに依頼・了承済み
- ・ 学会4日目、3月30日(月)9:00 からを第一希望
- ・ 領域「物理と社会」

(2) 物理教育分科との協力について：配布資料6

前委員会からの申し送り事項であった、「物理教育委員会との連携し、合同シンポジウムを実施する」の件について、松尾委員長が物理教育委員会委員・興治氏と連絡を取ったところ、物理教育委員会委員・村田氏より正式に「シンポジウム実施の前に、インフォーマルミーティングで意見交換の場を作りたい。」との回答メールを頂いた。

- ・ どのような形のインフォーマルミーティングか(合同で行うか、又は物理教育委員会に参加の形か)など、米永委員が連絡担当として具体的な話を進めることとなった。

(3) 64期役割分担および今後の委員会活動について

サブグループ役割分担は以下のように決定された。(先頭が取りまとめ者)

- ・ 物理学学会シンポジウム ・ ・ ・ 嘉規、松尾、門野
- ・ 物理教育分科との連携 ・ ・ ・ 米永、嘉規
- ・ 広報 ・ ・ ・ 森、米永、五神、中島
- ・ アンケート分析(+提言) ・ ・ ・ 前田、松尾、加賀山、平田
- ・ 女子中高生啓発 ・ ・ ・ 中島、有光、松島
- ・ 学協会連絡会 ・ ・ ・ 有光、前田
- ・ 学協会連絡会シンポジウム ・ ・ ・ 門野、松島

役割分担を決定する中で、サブグループの主な役割および活動方針について議論された。

(広報) ○本委員会の理念を明文化し、HPに掲載する。内容については森委員を中心としたワーキンググループで議論していく。また本委員会の設立の経緯を含む活動の歴史についてもHPに掲載する。HPは中島委員が担当。

○「男女共同参画推進委員会だより(学会誌掲載)」の今後の記事について、

委員会活動をまったく知らない会員の目を引きやすいよう、もうすこし一般的な記事内容にしてはどうか、との意見が出た。また、記事を米永委員、門野委員に執筆依頼する。

(アンケート分析) アンケート分析をどのように進めるか、方針から議論していく。データ処理については予算確保してある。

(女子中高生啓発) 国立女性教育会館主催の夏の学校への参加（ブース出展、会議の出席含む）。

(学協会連絡会) メーリングリスト（リエゾン）参加者は、有光、松尾、鳥養、前田、富樫または岡村（事務局）にする。リエゾンからの情報は適宜、有光委員が委員会メンバーに転送する。

(4) 次回委員会日程

4月上旬（後日調整）

資料1：前回議事録（案）

資料2：IUPAP WIP 国際会議報告

資料3：男女共同参画学協会連絡会シンポジウム報告

資料4-1：アンケートデータ利用管理ガイドライン（学協会連絡会）

資料4-2：個人情報保護方針（学協会連絡会）

資料4-3：大規模調査報告書利用ガイドライン（学協会連絡会）

資料4-4：データベース利用誓約書（学協会連絡会）

資料5：第64回年次大会シンポジウム講演申込

資料6：物理教育分科との合同インフォーマルミーティング（村田理事よりの返信）

参考資料1：第63期第2回議事録

参考資料2：学協会連絡会シンポジウム 物理学会発表ポスター

以上